第10回 健康寿命をのばそう! AWARD 優良賞

厚生労働省 保険局長 優良賞

企業発！目指せ！健康経営の好循環 ～くまもと健康企業会～

受賞者 **全国健康保険協会 熊本支部**（熊本県）

取組アクション：適度な運動／適切な食生活／禁煙／健診・検診／その他

健康経営の分野で事業所が集結し、自主的に運営する全国初の取組

背景・概要

全国健康保険協会 熊本支部では、健康宣言をする事業所数は増えているものの、主体的に取り組めている事業所が増えず、健康経営の質的向上が課題となっていた。そんなときに、ある事業所から企業同士が連携する必要性を提案され、健康経営の実効を上げることを目的とした企業間連携の検討を開始。その検討を進める中で、健康経営の実践が進んでいる県内の企業5社に幹事事業所を引き受けてもらい、令和2年8月に「くまもと健康企業会」が発足した。健康経営を主体的に実践し、従業員のヘルスリテラシーと健康度を高めることで保険料率の低下につなげ、事業主がよりいっそう質の高い健康経営の実践を目指す、という好循環を生み出すねらい。

取組内容

●幹事事業所が主体となって運営　業種・規模が異なる事業所が主体的に健康経営に取り組むために、優良事例の共有や課題の解決策を見出しながら、健康経営の実践に向けた事業所間の連携を強化。定例会では、幹事事業所が中心となってテーマを選定し、事例の発表や情報共有、外部講師によるセミナーを実施。事業所の実態を把握するためのアンケートの回答内容に基づいてグループワークの組み合わせを、取組が十分な事業所とそうでない事業所にしたり、幹事事業所がファシリテーターとなることで意見交換が活発になるよう工夫している。

↑令和2年8月、くまもと健康企業会発足式

成果

●着実に広がる健康経営の輪　参画事業所数は、令和2年8月の40社から令和3年7月時点で52社に増加。業種・規模の垣根を越えて、「健康経営の主体性」と「事業所との連携（コラボヘルス）」を実現する取組が広まっている。

●健康経営優良法人の認定も進む　臨時会として、健康経営優良法人の認定取得に向けた勉強会を行い、申請書を確認しあい情報交換を行ったことで認定率が向上。くまもと健康企業会に参画する事業所のうち、認定を目指した92.3％にあたる36社が認定を受けた。また、健康経営優良法人の上位500社にあたる「ブライト500」に認定された県内14社のうち、くまもと健康企業会に参画する事業所は11社。

↑令和3年11月、第5回定例会グループワークの様子

評価委員による講評：井上 茂

健康経営に取り組む企業が増加していますが、各企業の担当者はそれぞれに悩みを抱え、試行錯誤しながら効果的な取組を模索しています。受賞した全国健康保険協会 熊本支部による事例は、ほかの企業がどんな取組を行っているのかを知りたい、お互いの悩みを相談したい、という健康づくりの担当者の思いに応える取組でした。協会けんぽがハブとなり、加入する事業所の交流を促すことで、健康づくり活動を支援する事例です。具体的には健康経営の実践が進む5つの事業所を幹事とした「くまもと健康企業会」を立ち上げ、情報交換を促し、好事例の共有に成功しています。その結果として、参画事業所が次第に増加し、各事業所の主体的な取組が促進されています。参画事業所から、健康経営優良法人の上位500社にあたる「ブライト500」に11社が認定されていることも優れた成果で高く評価できます。